

第1回 温・化・荷・界・開・階・寒・感

答え

- 1 感心
- 2 荷(物)
- 3 化石
- 4 開店
- 5 体温
- 6 (世)界
- 7 二階
- 8 開く
- 9 寒い
- 10 温かい
- 11 ば
- 12 かんき

！字形に注意！

温

出す

つき出さない

界

1画で書く

階

寒

点の向きに注意

感

わすれずに

第2回 くわくくする言葉

考え方

- 2 ①のイは、「ぼくは」一人で「川本さんと中田さんを」さがしに行ったのか、「ぼくは川本さんと」一緒に「中田さんを」さがしに行ったのがわかりませんね。④のアは、「友達が学校を休んだ」のがきのうなのか、「ぼくがその友達に会った」のがきのうなのかわかりません。②のアは「大きなはしら時計」と「大きな音」、③のアは「美しい湖」と「美しい女性」、⑤のイは「大きな耳」と「大きなうさぎ」のように、それぞれ二通りの意味にとれます。

- 3 解答欄のそばの「だれが」などの言葉をヒントにしましょう。修飾のはっきりしない文を直すには、意味の分かれ目に読点(・)を打つ、あるいは語順を変えろといった方法があります。ここであげている解答と多少異なってもかまいません。

答え

- ① イ
 - ② ウ
 - ③ オ
 - ④ エ
 - ⑤ イ
- 30ページ参照
- ① 兄はうれしそうに、遊ぶ妹を見ていた。
 - ② ぼくのおじさんは、大きな門のあるりっぱな家に住んでいる。

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう！



くわくは
こちら！

Z会の本



カッコいい小学生になろう

第3回 まちがいがちがしをこぼし

考え方

ここまで学習した内容から幅広く出題しています。言葉の学習の総仕上げとして取り組んでみてください。間違えたものについては、くわしく取り上げている回に戻って復習しましょう。

1 はら抜き言葉、2 は接続語、3 は呼応の副詞、4・5 は敬語の問題です。

2 同音異義語の問題です。わからない場合は、その読みで国語辞典を引き、文にあるものを探してもよいでしょう。

3 2 は主語・述語のねじれを直す問題です。3 は、「そこで」「したがって」などの順接の意味の接続語であれば正解です。4 は、この文末のみ常体になっています。一つの文章の中では、文体を統一するようにしましょう。

答え

1 1 イ 2 ア 3 ア 4 イ 5 ア

2 1 後世 2 身長 3 会場 4 消化 5 指名

3 1 エ ↓ 少しずつ

2 【例】おばあちゃんのしゅみは絵をかくこと／おばあちゃんに絵をかくことがすき

3 【例】だから

4 二文目の文末「入っていた」↓入っていました

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくはこちら!

Z会の本 🔍



かっこいい小学生になろう